

# 哲 學 研 究

第 五 卷 第 十 一 冊

第 五 十 六 號

大 正 九 年 十 月 一 日 發 行



大正五年四月六日第三種郵便物認可  
大正九年十月二十七日印刷納本(毎月一回一日發行)

近代勞働者階級の哲學思潮	文學博士 米田庄太郎
知覺と想像	文學士 務臺理作
原始僧團に於ける比丘の極重罪(承前)	
アッハの意志說	文學士 手島文倉
彙報 新著紹介	文學士 大脇義一

京 都 帝 國 大 學 文 學 部  
京 都 哲 學 會



## 京都哲學會規則

- 第一條 本會ヲ京都哲學會ト稱ス
- 第二條 本會ハ廣義ニ於ケル哲學ノ研究及其普及ヲ以テ目的トス
- 第三條 本會ハ前條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事業ヲ行フ
- 一、毎月一回研究会ヲ開ク
  - 一、毎年春秋二回公開講演會ヲ開ク
  - 一、毎月一回雜誌『哲學研究』ヲ發行ス
- 第四條 本會事務所ヲ京都帝國大學文學部内ニ置ク
- 第五條 本會ノ事業ヲ經營スル爲メニ左ノ役員ヲ置ク
- 一、委員(若干名) 京都帝國大學文學部哲學科教官及委員會ニ於テ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ
  - 一、書記(一名) 委員會ニ於テ囑託ス
- 第六條 本會ノ趣旨ニ賛同スル者ハ何人ニテモ會員タルコトヲ得
- 學校、圖書館、教育會、其他ノ團體ハ其團體ノ名ヲ以テ入會スルコトヲ得
- 第七條 會員ハ會費トシテ年四圓四拾錢、前後二期ニ分ケテ前納スベキモノトス
- 第八條 會員ハ本會ノ諸種ノ會合ニ出席スルコトヲ得且ツ雜誌『哲學研究』ノ配付ヲ受ク
- 第九條 本會規則ノ改正變更ハ委員會ノ決議ニ依ル

## 京都哲學會役員

### 委員

文學博士	波多野精一
文學博士	西田幾多郎
文學博士	朝永三十郎
文學士	千葉胤成
文學博士	狩野直喜
文學博士	米田庄太郎
文學博士	高瀬武次郎
文學博士	田邊
文學士	務臺理作
文學士	植田壽藏
文學博士	野上俊夫
文學博士	松本文三郎
文學博士	深田康算
文學博士	藤井健治郎
文學博士	小西重直郎
文學士	澤村專太郎
文學士	寶嚴方治

### 書記

盟列強の通商植民。二三、民主・社會・博愛・平和・主義的運動。二四、世界政策の衝突。二五、世界職役世界改造。

(一九二〇・一〇・九。三木清)

### 寄贈書籍雜誌

哲學雜誌、丁酉倫理講演集、心理研究、東洋哲學、一六合雜誌、東亞之光、支那學、六條學報、學校教育、教育、内外教育評論、教育學術界、教育界、教育研究、教育時論、日華公論、佛教學雜誌

パイクレー人智の原理及對話

最近社會學の進歩

文學士 善浪達童譯  
東京 大村書店發行

大日本學術協會



### 前 號 目 次

社會科學の性質に關するコトンの見解……………文學博士	藤井健治郎
判斷對象の構成に就いて……………文學士	三宅剛一
倫理學の對象としての道德的價值判斷に就いて……………文學士	世良壽男
自然の理性化(承前)……………文學博士	西晋一郎

會 告

一、本會へ入會希望ノ方ハ直接本會宛テニ御申込被下度候  
 一、會員ニシテ轉居セラレタル節ハ直チニ其旨御報知被下  
 度候  
 一、會費ハ振替口座大阪參〇六六參番、京都哲學會宛テニ  
 御拂込被下度候  
 一、本誌ノ編輯ニ關スル通信及紹介・新刊書・交換雜誌等ハ  
 凡テ本會宛テニ御發送被下度候

京都帝國大學  
 文學部内 京都哲學會  
 振替口座大阪參〇六六參番

價 定

冊	數	定	價	郵	稅
一	冊	金	四	拾	錢
六	冊	金	貳	圓	四
十	冊	金	四	圓	八
十二	冊	金	四	圓	八

廣 告 料

一頁 金貳拾圓 半頁は取扱不申

註 文 規 定

- ① 會員にあらざる誦讀者の御註文及び廣告に關する件は寶文館へ御申込下され度候
- ② 本誌の御註文はすべて代金郵稅共前金にて御送り下さるべく候
- ③ 振替貯金にて御送金は(東京二八〇番)寶文館宛に願上候
- ④ 前金切れの場合は帶封に「前金切」の印章押捺致すべきに付直に御拂込下され度候
- ⑤ 見本御入用の場合は金參拾錢御送り下され度候
- ⑥ 特に請求書及領收書等を要する場合は郵券三錢御送付下され度候

大正九年十月二十七日印刷納本  
 大正九年十一月一日發行  
 第五十六號 第五卷  
 第十二册

不許複製  
 禁轉載

編輯者 京都帝國大學文學部内  
 京都哲學會  
 右代表者 寶嚴 方治  
 發行者 大葉 久吉  
 印刷者 青柳十一郎  
 印刷所 秀英舎第一工場

發行所 東京日本橋區本石町三丁目  
 (振替口座東京二八〇番) 寶文館

發賣元 東京市日本橋區本石町三丁目  
 大阪市東區淡路町四丁目 寶文館

賣捌所 (東京) 東京堂、東海堂、北隆館、  
 上田屋 (大阪) 盛文館 (京都)  
 寶文館 (神戸) 寶文館

◀ 著名の讀必下刻 ▶

廣島高等師範學校教授 文學士 高田保馬著

最新刊

社會學的研究

布裝全壹冊

定價

金貳圓五拾錢

送料金八十錢

著者、社會學の研鑽に従事せらるゝこと既に十年、常に斯學の純理に没頭して、其發達の趨勢に後れざらんと努力せられたり。本書は其間に成れる苦心の勞作十二章を收む。冷靜氷の如き理論に包むに、人類の愛、詩的情熱を以てする所、一卷の特色にして、又充分に著者の學風を味ふに足るべし。特に又大戰の終結と共に、世界に於ける社會組織の變革將に近からんとす、此時勢の必要に應じて、社會の根本的性質を明かにし、社會的思潮の眞髓を味はむとする人士にとりては、最も有益なる大文字なり。

本書の要目

一 二 三 四 五 六

社會進化論の性質  
社會法則の性質  
統計的方法と歸納法  
生死減少逆行の法則  
貧富と出生率  
分離論

七 八 九 十 十一 十二

社會的定量的法則  
分業について  
家族の將來と社會の團結  
資本家的集積說の研究  
優生學是非  
現代文明の迷妄—生産政策の否定

大坂市東區淡路町  
振替大坂四番

寶文館

東京市本區橋石町  
振替東京二八番